

Q. 昨年、イギリスのグラスゴーという街に世界中の国が集まって、気候変動について話し合う会議が開かれたよ。「COP26」っていうんだ。

この会議で、気温上昇の努力目標がはっきりと示されたよ。では、今世紀末までに世界の気温上昇を産業革命以前(日本では江戸時代の終わりから明治時代頃)と比べて「何℃以内」に抑えることとなったかな?

- ① 1.5℃ ② 2℃ ③ 4℃

A. 「地球温暖化」って知ってるかな? 地球の平均気温が上がってしまう現象のことで、様々な異常気象を引き起こすとされているんだ。その原因は、人間が電気やガスなどを使ったり木々の使用で森林を破壊したりして「温室効果ガス」が増えたことだといわれているよ。

「COP26」では、地球の気温上昇を1.5℃以内に抑えるという努力目標を決めたんだ。そして、目標達成のためには、温室効果ガスの排出量を減らして吸収量を増やす必要があるんだよ。

いまま世界中で温室効果ガスを減らすために取り組まれているけど、このままだと気温は1.8~4℃も上がってしまうんだって。

みんなにも、できることは沢山あるんだ。見ていないテレビを消したり、水道水の流しっぱなしをやめたり、植物を大切に育てたり...ぜひ挑戦してみてね!

かんきょう通信市民編集員 大募集!

面白い。コロナ禍の影響で久しぶりに集まった編集会議。普通では同席することはない編集員と市役所の職員さん。うちに閉じこもっていても耳にすることができない話題がどんどん飛び出てきます。

なかなか集まりにくいご時世ですが、外の空気を感じてみませんか?楽しいですよ。

編集後記

小学生などからSDGsという言葉をよく耳にして驚かされます。未来を担う若い人達にツケが回る様な形になりますが、どうすれば石油等の化石燃料が「後〇年しか持たない」という事をなくせるか? どうすれば地球が君のままに残せるか? 大きなテーマに果敢に挑戦してもらいたいと思います。

かんきょう通信は今回で50号、そして20周年を迎えました。100号の舞台を目指して、スウェーデンのグretaさんのように、一緒に活動してくれる若者の登場に期待しています。(C. T)

応募資格

- ・市内在住・在勤・在学の方
- ・掲載内容を考える編集会議に参加いただけるまたはメールなどでやり取りできる方
- ・イラストが得意な方も大歓迎!

2022年3月発行 第50号

発行:かんきょう通信 市民編集部

事務局:福生市役所生活環境部環境課

TEL.042-551-1718(直通)

資源有効利用のため
本紙は再生紙を使用
しています



この印刷物は環境にやさしい
「植物インク」を使用しています。



「福生市は、環境保全に関する普及啓発のシンボルマークとして、かんきょう通信にエコマークを使用しています」

市民編集員 エボエリコ・小野 豊・工藤 秀佳
高森千夜子・峯 嶋 潔・渡部 綾子



令和3年度ふっさ環境フェスティバルを振り返って

★ ふっさ環境フェスティバルってなに?

来場者に、環境にやさしいライフスタイルや自然との共生についての啓発活動を行うイベントです。例年、環境月間の6月第1日曜日、多摩川中央公園を会場に開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、止む無く中止となりました。

★ こんなときだからこそ!

今年度も、残念ながら来場型のイベントは中止となりましたが、実行委員の皆さん中心に「こんなときだからこそできることを!」の視点に立ち、**まちなか全体を会場**とした新しい環境フェスティバルを行いました。

自然環境やエコな取組
に関心を持つきっかけ
になれば嬉しいなあ!



参加事業者や団体等が実践する環境に配慮した取組を「私たちの環境配慮」として店先に掲示し、その取組などを掲載した環フェスマップの配布や WEB 動画の配信を通じて、多くの方に環境への興味・関心を持ってもらえるようPRを行いました! フェスティバルをきっかけに、継続して環境配慮に取り組んでいる方も増えましたよ!!

参加団体さんの声 ~実行委員「ふっさ草笛サークル」~

環境月間中、私ども「ふっさ草笛サークル」は多摩川中央公園を離れ、開催日は別々に3日間、3か所で「草笛教室」を開きました。

ある公園では2人が参加し、密を避けるためにベンチの端と端に座り、童謡を中心に数曲演奏しました。観客の1人の少年が、どうして葉っぱで音階ができるのか不思議そうに見つめていたのが印象的でした。また、演奏後はごみ拾いを行い、改めてごみの多さに気がつきました。



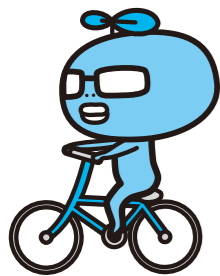
会員宅のガレージでの演奏では、買い物客らしき人達が眺めていました。かに坂公園では、猫がお客さまでした。

草笛はマスクを外さないと演奏ができません。外すと飛沫が飛びます。お客さまには申し訳ないのですが、ある一定の距離を保ってもらい、リクエストにも応じた演奏を聴いてもらいました。

早くまたマスクを必要としない世界で、多摩川中央公園の特別ステージから奥多摩の山々に届かんばかりの演奏ができれば嬉しいな。

お忙しい中ご賛同いただいた市内外の88の事業者・団体の皆さん、本当にありがとうございました。令和4年度は、まちなか全体の会場に加えて、楽しみながら環境について学べる来場型のイベントも検討中です! 皆さんも、店先などで「私たちの環境配慮」を見つけて、お気に入りの取組を実践してみてください。地球に優しい行動はお財布にも優しいですよ!

サイクルシェアリングを利用してみよう!



サイクルシェアリングとは、貸出用の自転車をみんなでシェア(共有)する仕組みのこと。
好きなときに、さまざまな場所のサイクルステーションで貸出・返却ができて、地球にも優しい、いま大注目の事業なんだ!
今回は、そんなサイクルシェアリングのお話だよ!

サイクルシェアリングの歴史

1965年にオランダのアムステルダムでサイクルシェアリングが導入されて以降、自転車の盗難や破損、整理整頓がされない無秩序な利用など、さまざまな課題を解決していきながら、決済方法や無人管理方式など、技術革新と共にアメリカやヨーロッパ、中国などを中心に世界的な広がりを見せていきました。



国内では…

1980年代の仙台市、90年代の練馬区の社会実験などを皮切りに、各地域でも取組が行われ、最近では新たな移動手段として確立すべく、国を挙げて推進しています。

昨今、災害により公共交通機関がマヒしてしまった際の移動手段として活用されたことを受け、その存在価値や意義が改めて認識されました。

令和元年度時点で、日本は導入している地域の数で、中国、アメリカに次ぐ第3位、世界有数のサイクルシェアリング国家になっています。



Point!

今までに削減したCO₂は、2リットルのペットボトルで1,500万本分以上!

福生市のサイクルシェアリングが新しくなります!

福生市では平成23年度に、近隣地域に先行して電動アシスト自転車のシェアリング事業を展開、平成26年度からは「たっけー☆☆サイクル」事業として本格実施し、自動車から自転車へ、所有から共有への転換を図り、CO₂削減など環境配慮を率先して推し進めていました。

設備の老朽化等により、安定したサービスの提供が難しくなったことから、昨年末をもって事業は終了しましたが、**令和4年度からはOpenStreet株式会社が提供する「HELLO CYCLING」による新たなサイクルシェアリング事業をスタートします!**

貸出・返却の拠点となるステーションの数は今までの5か所から18か所に、自転車も約2倍の50台以上を配備します。また、お隣の立川市など、一部自治体との相互乗り入れが可能となり、市内外で色々な使い方ができるようになります。

これからは日に日に陽気が良くなり、お出かけには絶好の季節。感染症の予防など、引き続き移動にも気を使う必要はありますが、そんな時こそ、自分のペースで自由気まま、環境にも優しいサイクルシェアリングをぜひ利用してみてください!



ステーション設置場所
「くるみるふっさ」(福生市本町)



アライグマ・ハクビシンのこと お気軽にご相談ください!



福生市では、市民の皆さんからの目撃・被害情報をもとに箱わなを設置し、外来生物であるアライグマとハクビシンを防除しています。

アライグマ・ハクビシンはどこから来たの?

アライグマは1977年に放送されたテレビアニメがきっかけで、北米大陸からペットとして輸入されたものの、どう猛な性格から飼いきれなくなり、野生化したといわれています。

ハクビシンは、明治時代(諸説あり)に中国などから毛皮用として持ち込まれ、その一部が野生化したといわれています。

なぜ防除するの?

外来生物であるアライグマ・ハクビシンによって、もともと日本にいる動物や生物への被害や、家屋への侵入・破壊、感染症などの危険性があり、人々の生活環境が脅かされているからです。

まずはご連絡を!

「猫ではない動物を見た」「庭の木の实が食べられている」「メダカや金魚が減っている」など、「これってもしかして…」と思ったときはお気軽に環境課までご連絡ください!(Tel.042-551-1718)

かんきょう通信編集員は見た! 市内の目撃情報

「夜7時頃、車で走行中、自宅近くの月極駐車場から3匹の動物が連なって飛び出してきた。最初、猫かと思ったが、ライトに照らされた姿はそれと違い、ふさふさとしたシマシマのしっぽがハッキリ見え、自宅の方向へ走り去った。こんな住宅地で遭遇するとは思っていなかったのが驚きました。」

…皆さんの近くの思わぬ場所にも、アライグマ・ハクビシンが潜んでいるかも!?



福生市の地球温暖化対策の取組紹介

市では、市有施設における温室効果ガス排出量の把握・削減を目的として、福生市地球温暖化対策実行計画を策定しています。令和2年度は、第3次計画の最終年度であり、削減目標を達成しました。令和3年度から新たに第4次計画がスタートしています。

この計画の推進や環境配慮の取組を進めるため、環境マネジメントシステム「F-e」を運用しています。今年度は2月3日(木)と7日(月)に、リモートを活用した監査等を市民監査委員と共に実施しました。

今後もエネルギーと資源の適正な使用による、市民サービスの提供を目指して運営を行います。



リモートで
取組を確認!